

平成 2 1 年度第 2 回河南町入札監視委員会 議事概要

開催日時	平成 22 年 2 月 16 日（火）13 時 30 分から 15 時 15 分
開催場所	河南町役場庁舎 2 階庁議室
出席者	委員 3 名 総務部長、まち創造部長、教育次長、契約検査室長、教育課長、 上下水道課長補佐兼係長、契約検査室職員 3 名
議事概要	<p>平成 21 年度第 2 回河南町入札監視委員会の概要は、次のとおりです。</p> <p>1．指名停止措置の運用状況について 平成 21 年 8 月 1 日から 12 月 31 日までの指名停止措置について事務局から報告がありました。</p> <p>2．談合情報等の処理状況について 平成 21 年 8 月 1 日から 12 月 31 日までの間に談合情報はありませんでした。</p> <p>3．入札・契約状況及び抽出事案について 平成 21 年 8 月 1 日から 12 月 31 日までの 5 ヶ月間に本町が契約締結した 130 万円を超える工事、50 万円を超える委託及び 80 万円を超える物品購入の入札・契約状況の報告があり、対象契約案件 58 件の中から任意抽出された次の 4 件の概要、入札の経緯、落札者の決定等について契約検査室及び担当部局より説明し、審議が行われました。</p> <p style="padding-left: 2em;">抽出事案</p> <p style="padding-left: 2em;">平成 21 年度 下河内地区砂防関連工事（契約金額 2,726,850 円） 横縄大日水路測量設計委託（契約金額 2,486,400 円） 学校 ICT 環境整備事業教育用パーソナルコンピューター等購入 （契約金額 104,790,000 円） 平成 21 年度簡易水道事業 青崩簡易水道浄水施設改修工事 （契約金額 32,550,000 円）</p> <p style="padding-left: 2em;">主な質問及び意見</p> <p style="padding-left: 2em;">の抽出事案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同一の業者が第一落札候補者となった 3 件の工事における入札参加者は同じか。 <p style="padding-left: 2em;">（回答）土木一式と舗装であるため入札参加者は異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一落札候補者が 3 件の工事のうち本工事に事後審査資料を提出しなかった理由は。

	<p>(回答)技術者を配置できなくなるため、受注する工事件数に制限が生じ、舗装工事に比べて二次製品費の占める割合が高い本工事を断念したと考えられます。</p> <p>の抽出事案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ1者しか入札に参加しなかったのか。 <p>(回答)農業土木は、他の業種に比べて対象業者数は少なく、業務内容も細かなものであり、コンサル業務全体の落札率が低いことから敬遠されたのではないかと考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札の公告が周知されていなかったのでは。 <p>(回答)本町では原則として毎月10日に公告することとしており、他の業種の入札参加者は比較的多く、農業土木の対象業者も他の業種で登録していることから周知されていると考えられます。また、年度初めと中間時に発注見通しの公表も行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者での入札にもかかわらず落札率が高いものとなっていない。 <p>(回答)郵便入札の効果であると考えられます。</p> <p>の抽出事案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様の中で機種を限定していないか。 <p>(回答)パソコン本体、ディスプレイ、キーボード、マウスについては同一国内メーカーとしていますが、タブレットパソコンについては、仕様を満たす機種が限定されるため、パソコン本体と同一メーカーでなくても良いことを入札の質問で回答しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指名理由でシステム開発運用を希望する者としている理由は、ネットワーク構築が含まれているため、条件としました。 <p>の抽出事案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・膜ろ過設備の選定評価でコストと製品内容の比率は設定していたのか。 <p>(回答)評価内容の25%をコストによる評価としています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16年サイクルで考えた場合、ランニングコストとイニシャルコストで逆転することはないか。 <p>(回答)逆転することはありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業者を選定した経緯は。 <p>(回答)対象業者のうち、入札参加資格、納入意欲、実績及びアンケート等により絞り込みをおこない、本工事で設置可能である業者を選定しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・随意契約でなければならない理由は。 <p>(回答)入札では、イニシャルコストしか比較できないため、ランニングコストを含めて比較することができる随意契約としました。</p>
--	--

審議の結果

抽出審議した4件の案件については、入札及び契約状況は概ね適正な手続きで行なわれたと認められました。

4. 委員会による意見の具申又は勧告

無し

5. その他

事務局より事後審査型条件付一般競争入札の新制度について説明がありました。

- ・入札参加者が申請書に記載した「落札希望順位」及び「受注可能件数」に従って、自動的に落札候補者を決定。
- ・取り抜けや応札件数の制限でないため、多くの入札への参加や受注希望の尊重が可能。
- ・一定期間運用後、入札参加資格要件を満たしていなかった落札候補者については、指名停止措置の対象。

(主な質問及び意見)

- ・一日の入札件数は、何件くらいか。

(回答) 平均で5件程度です。

- ・入札事務は煩雑となるが、よく検討された内容となっている。

6. 問い合わせ先

河南町総務部契約検査室 電話番号 0721-93-2500 (内線 240・241)